

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 8 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 地域整備課 課長 林 昇
施策	9	道路の安全性と利便性の確保	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町内の道路利用者	安全に道路を利用できる。	基本事業	1 道路整備の推進・促進	町内の道路利用者	短時間で移動ができる。
			2 道路の安全性の確保	①町内の道路利用者 ②道路施設	安全に利用できる。
			3 冬期間の道路網の確保	町内の道路利用者	冬期間において道路を安全に利用できる。
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 道路の補修や橋梁の長寿命化を計画的に実施し、併せて道路愛護作業等による道路の適正な維持管理に努めます。 道路施設の健全化を図るとともに、都市計画道路未整備区間を早期開通させ、道路の利便性の向上を図ります。 迅速な除排雪や消融雪施設の適正な維持管理を行うとともに、住民自らが行う除排雪作業を推進し、冬の円滑な交通の確保に努め、事故や通行止めの発生を抑制します。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	町内の道路に不便を感じている町民の割合/道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合	%	実績値	50.3/63.5	53.7/56.3	53.4/56.3
			目標値		48.0/60.0	47.0/58.0	46.0/56.0	45.0/54.0	44.0/52.0	43.0/50.0
B	道路改良率/都市計画道路改良率	%	実績値	37.4/32.0	37.6/34.8	37.7/37.4	37.7/37.4			
			目標値		37.6/34.8	37.6/37.4	37.7/37.4	37.7/37.4	37.8/37.4	37.8/42.0
C	道路に関する情報・苦情件数(夏期/冬期)	件	実績値	130/219	30/101	26/59	113/29			
			目標値		130/195	125/190	120/185	115/180	110/175	105/170
D	冬期間における交通事故発生件数	件	実績値	275	257	228	191			
			目標値		250	240	230	220	210	200
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が低くなれば、目的が達成できていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合 ※道路の除排雪・消融雪に不満を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合 B) 数値が高くなることにより、道路利用者が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。 ※道路改良率:道路台帳道路総括表より実数を把握 都市計画道路改良率:主管課で把握 C/D) 道路に関する情報・苦情件数及び交通事故発生件数については、殆どが冬場の積雪・凍結関係であることから、件数が減少することは道路の安全性・利便性の向上に繋がると考え成果指標とした。(夏期は4月～11月、冬期は12月～3月とする)</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 町内の道路に不便を感じている町民の割合については、毎年、計画的に地域の主要路線の改良を進めていること、また都市計画道路の未開通区間の一部が整備されることにより、若干の向上は見込まれるが、地域による道路愛護作業において、従事する町民の高齢化、人口減等により、日常的な維持管理が十分でなくなる事が想定されるため。 B) 道路改良率、都市計画道路改良率については、後開師線の予定区間が完了する予定であること、都市計画道路の未着手区間の一部(悪戸矢瀬線)の開通が見込まれる事から若干向上が見込まれる。 C) 道路に関する情報・苦情件数については、町道の舗装が経年劣化により全体的に傷んできていることから、成り行きでは件数は増加すると思われるが、補修・維持管理(事業化・直管等)を適正に実施することにより、目標値を設定する。また、冬期間の情報・苦情件数については、前記と同じく、地域人口の減少・高齢化等により除雪に対する要望が増加することが想定されるが、除雪機械の整備・更新を適正に行い、またオペレーターの確保に努めると共に、地域除雪の協体制度を拡充することにより、目標値を設定する。 D) 冬期間の事故発生件数については、冬期間の交通の安全確保に努めるとともに、町ホームページにリンクしている気象情報ライブカメラ、除雪車両マップ等の情報を、今後より多くの方に利用してもらうことにより、道路状況に応じた運転を心がけてもらうことにより件数は減少すると見込んでいる。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。 地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。 道路の危険箇所などを通報するとともに、雪道では特性を理解した運転に心がける。 地域ぐるみで除雪体制を考え、地域除雪に協力する。 <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に道路の整備を行う。 道路・橋梁等の道路施設の適切な維持管理を行うとともに、ホームページを活用した情報提供を行う。 道路愛護活動のための支援を行う。 降雪状況を把握して安全で迅速な作業(除雪、消融雪、凍結防止剤散布)を実施する。 除雪作業に必要な協力の呼びかけ(PR、広報)を行う。
---------------	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進むことで、これまで道路等の維持管理及び除雪に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。 地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。 都市計画道路の開通により、道路利用者が分散され、渋滞緩和・移動時間の短縮が図られる。 除雪車両については、交付金を活用し計画的に更新を進めていくが、更新に膨大な費用を要することが見込まれる。 <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民の半数以上が町内の道路に不満・不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとはいえない。特に、「道幅が狭い」、「道路が暗い」、「除雪状況が悪い」との意見が多く寄せられている。 都市計画道路真政悪戸矢線橋開通により、利便性の向上が図れたが、残り区間、悪戸矢線及び真政工区(老人センター～17号バイパス)の早期完成が望まれている。 地域除雪の取り組みについての必要性。
-----------	--

施策	9	道路の安全性と利便性の確保	主管課	名称	地域整備課
				課長	林 昇

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①町内の道路に不便を感じている割合は平成29年度53.7%、平成30年度53.4%、令和元年度50.2%と前年度に比べ3.2ポイント減少した。また、道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は、平成29年度56.3%、平成30年度56.3%、令和元年度50.4%と昨年度に比べ5.9ポイント減少した。</p> <p>②道路改良率は、平成29年度37.6%、平成30年度37.7%、令和元年度37.7%とほぼ横ばいで推移している。町道の総延長が長いこと、道路改良を進めているものの改良率に変化が現れない。また、都市計画道路改良率は、平成29年度34.8%、平成30年度37.4%、令和元年度も前年度同数値の37.4%であった。</p> <p>③道路に関する情報・苦情件数の夏期は、平成29年度30件、平成30年度26件、令和元年度113件で、冬期は、平成29年度101件、平成30年度59件、令和元年度29件であった。令和元年度の夏期の件数が上昇したのは台風19号の影響による。</p> <p>④冬期間における交通事故発生件数は、平成29年度257件、平成30年度228件、令和元年度191件であった。</p>
		② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。
	③ 目標の達成状況		<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1	道路整備の推進・促進	km/分	実績値 実績なし	12.6/20	12.6/20	12.6/20
	A 町内特定区間の距離及び所要時間(月夜野IC～保健福祉センター～上毛高原駅～水上IC)		目標値	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.0/15
			実績値							
	B		目標値							
			実績値							
2	道路の安全性の確保	% / 箇所	実績値	25/12	83/15	100/17	28/19			
				目標値	80/15	100/17	20/20	40/23	60/26	80/30
	A	道路施設(橋梁)点検済み率/補修済み箇所数		実績値						
				目標値						
3	冬期間の道路網の確保	件	実績値	0	0	0	0			
				目標値	0	0	0	0	0	0
	B		実績値							
				目標値						
4			実績値							
				目標値						
	A		実績値							
				目標値						
	B		実績値							
				目標値						

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 道路整備の推進・促進	都市計画道路等の早急な整備が必要である。	①(都)悪戸矢瀬線の未着手部分への改良工事を着手する。 ②関口大原線の国道17号へ接続する線形改良工事を着手する。 ③真政線についてJRと踏切箇所移設協議を継続して進める。 ④都市計画道路の見直しを継続して進める。
2 道路の安全性の確保	①道路の狭い部分を解消する。 ②橋梁等の道路構造物の安全性を確保する。 ③道路台帳の情報を容易に取得出来るようにする。	①野田原箕輪線の改良工事を継続して進める。 ②橋梁長寿命化修繕計画に基づき、法令点検を実施し、その結果に基づき必要となった補修工事を進める。 ③道路ストック事業に基づき、トンネル・法面等の長寿命化事業を進める。 ④道路台帳のWEB上での公開を進める。(公開型GIS)
3 冬期間の道路網の確保	①降雪時の道路の通行確保。 ②地域支援除雪の拡充。	①中期除雪計画の見直し。 ②冬期重機車両の運転手の確保。 ③地域支援除雪に対する除雪車等の貸与。
4		

09_道路の安全性と利便性の確保

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000001	国・県等土木施設整備促進事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	137,880 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				・国、県が実施する事業の要望活動の実施。 ・県土木事務所へ要望している事業の実現に向けて、県、町、町議との意見交換を目的とした土木行政懇談会の開催。 ・高速道路に架かる橋梁整備の事務局としての構成市町村等の調整事務等	継続案件の再確認や新規案件の調査。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						懇談会開催回数				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 ～ 年間		会計	1	款	8	項	1	目	1	0	1	回
単年度では解決しない案件もあるため、継続して活動していくことが望まれる。							引き続き活動を継続していく。						

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000002	土木工事設計積算事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	854,627 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				(財)群馬県建設技術センターからの通知を受け、積算システム更新の案内や使用機器の調査を行う。製図システム保守の取り扱いを行う。積算歩掛等の購入。	課題なし。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						積算システムを利用して発注した件数				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	1	目	1	100	125	件
書籍版建設物価については、会計検査対応のため長年保管する事になっており、保管場所が相当必要。							今後も継続的に、円滑に事業を進める。						

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

事務事業	000003	町道悪戸矢瀬線整備事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	136,054 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				悪戸矢瀬線整備 道路 L=600m W=15.0m	道路整備は実施していない。用地交渉を行ったが、用地取得には至っていない。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						整備済延長				
根拠	有	組織	地域整備	課	都市計画	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	4	目	2	0	0	m
境界確定等の問題があり、用地交渉が難航している。用地の取得が課題になる。							地権者との用地交渉を進め、用地を取得する。みなかみ中学校の開校(R4.4.1)までに町道悪戸矢瀬線の未整備区間(延長380m)を整備し、開通させる。						

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

事務事業	000004	町道真政悪戸線整備事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				真政悪戸線整備 道路 L=700.0m W=16.0m 橋梁 L=100.0m W=16.0m	道路整備は実施していない。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						整備済延長				
根拠	有	組織	地域整備	課	都市計画	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H 27 ~ 年間		会計	1	款	8	項	4	目	2	210	0	m
計画延長2,420mのうち、本年度に第1期計画が終了し第2期計画(1,120m)移行することとなる。							第2期計画(延長1,120m)を検討する。						

09_道路の安全性と利便性の確保

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000005		町道真政線整備事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	33,430,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		県道沼田水上線、政所信号～東側大沢田出水線を結ぶ新設道路	道路工事および踏切移設の協議	事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進				整備延長			
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	有	組織	地域整備	土木	JR東日本に踏切の移設工事を実施していただくために、継続的な協議が必要である。	踏切の移設	平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業 H27～年間		会計	1			8	2	3	0

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000008		土木総務費負担事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	633,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて道路網等の整備促進を図る。 H29年度より事務事業を1本化した。	課題なし。	事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進				総会開催数(みなかみ町が主体で行う)			
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	無	組織	地域整備	土木	どのような総会・要望活動が早期完成のために有効か検討し実施する。	今後も継続的に、円滑に事業を進める。	平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業 H～年間		会計	1			8	1	1	1

令和元年8月15日作成 (令和2年6月5日更新)

事務事業	000009		都市計画見直検討事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,000,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		都市計画道路9路線・延長14,962mのうち未着手の4路線・延長3,552mの検証を行う。 また、公共下水道未整備区域を含め汚水処理計画の検証を行う。	見直し計画を業者委託したが、計画策定に時間を要したため、次年度繰越となった。そのため、地域住民への説明会等は実施していない。	事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進				見直しする路線の延長検証を行う排水区域の面積			
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	有	組織	地域整備	都市計画	都市計画事業の変更及び廃止について、地域住民の理解を得ることが課題となる。	見直し計画に基づき、説明会等を実施し、地域住民の理解を得る。	平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	期間限定 H1～年間		会計	1			8	4	1	0

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000010		町道関口大原線道路改良事業		①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,620,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		下津の関口地区から国道17号までの延長およそ300mの道路線形改良を行う。	協議資料作成	事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進				当年度実施済延長			
					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
根拠	無	組織	地域整備	土木	国土交通省等との協議。	各種協議の実施、設計業務の完了	平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	期間限定 H1～年間		会計	1			8	2	3	0

09_道路の安全性と利便性の確保

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000001	道路愛護活動事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,329,060 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			道路の環境美化を通じて公共福祉の増進と道路愛護意識の高揚を図るため春と秋の年2回、地区の住民による道路の清掃並びに修繕に対し支援を行う。	課題なし。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					道路清掃延長					
						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	・傷害保険の補償内容の見直し。 ・任意保険加入の推進を図る。 ・作業に伴う安全管理の周知を強化する。	今後も継続的に、円滑に事業を進める。	平成30年度	令和元年度	単位			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款			8	項	2	目	1	441

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 11 日更新)

事務事業	000003	道路内民地未処理案件解決事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,452,314 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町道の敷地内にある個人名義の土地の処理を行う。公共用地として取得し、管理を適正に行えるようにする必要がある。	道路台帳等統合整備事業が進行し地理情報システムが構築されることにより道路内民地に係る台帳を作成する地盤ができあがった。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					道路内民地を町名義に登録した件数					
						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
根拠	無	組織	地域整備	課	用地・管理	道路内民地を把握するため台帳づくり。また事業を担当する部署への登記事務実施への徹底を周知していく。	地理情報システムを道路内民地の処理に活用し、寄附の申出をいただいた地権者に対して、一筆ごと着実に事業を処理していく。	平成30年度	令和元年度	単位			
事業期間	継続事業 H 30 ~ 年間		会計	8	款			2	項	1	目	1	4

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000004	道路維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	45,027,398 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			パトロールにより危険箇所の情報収集に努め、道路の欠陥・破損箇所を早期に見つけ補修し、町民生活に影響を与えぬよう道路を常に良好な状態に保つよう維持・補修を行う。	課題なし。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					修繕作業委託箇所数					
						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	道路/パトロールを強化して、町内の状況を把握し、早期に対応する。・業者等の施工方法や区長、近隣の住民と連携して補修にあたる。	公共土木施設の維持管理は必要不可欠であり、今後も継続的に円滑に事業を進める。	平成30年度	令和元年度	単位			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款			8	項	2	目	2	38

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000005	三峰トンネル維持管理費負担事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	24,672,224 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			望郷ライン三峰トンネルの維持管理について、事務を沼田市に委託し、延長割りで負担金を支払うもの。	課題なし。	事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保					トンネルの長さ					
						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	2市町にまたがるトンネルのため、補修工事を実施するにあたり、沼田市と調整をし、施工時期を合わせる必要がある。	今後も継続的に、円滑に事業を進める。	平成30年度	令和元年度	単位			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款			8	項	2	目	2	1,605

09_道路の安全性と利便性の確保

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000006	道路ストック総点検・老朽化対策事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	142,013,925 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	全国各地で起きているトンネル内コンクリートの剥落や道路のり面上方からの事故が起こらないように適切に維持管理する事を目的とする。各種道路構造物を点検し、危険箇所について補修工事などの対策をとる。	課題なし。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			点検箇所数・補修設計数・補修工事数			
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1 款 8 項 2 目 2			定期的な維持管理が必要	今後も継続的に、円滑に事業を進める。	10・3・20

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000008	単独道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,487,791 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	補助事業に該当しない小規模道路改良工事に伴う不動産鑑定評価業務、土地等売買契約、分筆・所有移転登記等工事等に向けての準備作業及び工事業務を行う。	課題なし。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			当年度実施済道路延長			
根拠	無	組織	地域整備 課	土木 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1 款 8 項 2 目 3			事業費の確保が必要となる。	今後も継続的に、円滑に事業を進める。	0

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000011	橋梁長寿命化事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	161,120,881 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	既設管理橋梁の定期点検を発注し、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化を図る。既設管理橋梁の職員による簡易点検を行う。また、計画に基づき補修及び修繕を行う。	課題なし。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			橋梁点検数・橋梁補修設計数・橋梁補修工事数			
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1 款 8 項 2 目 4			橋梁長寿命化計画が策定され、修繕計画が策定されると、多額の費用を毎年つぎ込み修繕することになるので予算の確保が必要である。しかし、修繕を怠ると橋梁通行不能となるため、新規道路や道路改良よりも優先的に予算を投入するべきである。	今後も継続的に、円滑に事業を進める。	72・1・2

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000012	狭あい道路拡幅整備事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	24,996,294 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	・町道野田原箕輪線(L=560.0m)路線測量業務・用地買収・物件補償・道路拡幅工事	交付金事業において、地域住宅計画(3期)は終了となったが、地域住宅計画(4期)が令和2年度より5年間継続される。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			狭あい道路事業延長			
根拠	無	組織	地域整備 課	用地・管理 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位
事業期間	継続事業 H 23 ~ 年間		会計	1 款 8 項 5 目 1			H31年度で交付金事業が終了する見込みであり、今後の路線要望への対応が課題となる	道路拡幅工事区間の一部に未取得用地があるため、地権者と用地交渉を継続的に行い、工事を進めて行く。	0

09_道路の安全性と利便性の確保

令和元年7月31日作成 (令和2年6月8日更新)

事務事業	000013	パークアンドライド管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	30,000 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	月夜野情報ターミナル駐車場を維持管理するための委託業務				事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保					駐車場の草刈り、ゴミ拾い作業の回数		
根拠		無	組織	総合戦略	課	企画調整	係			
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	10
課題なし				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位
								0	2	回

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000019	町道後閑師線道路改良事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	40,912,749 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	町道後閑師線狭小区間の拡幅改良事業		近隣住民や既存の交通量に対応しながら、工事を進めている。		事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保					当年度実施済延長		
根拠		有	組織	地域整備	課	土木	係			
事業期間	期間限定		会計	1	款	8	項	2	目	3
事業開始から完了まで6年要する。前後の未改良区間の検討				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位
								0	180	m

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000020	町道東峰87号線拡幅改良事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	30,987,283 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	町道東峰87号線狭小部の拡幅改良現地調査・測量設計・用地買収・改良工事 L=290m		施工の際、埋設管が工事の支障となったが、切り回すことで、道路拡幅改良工事を施工することが出来た。		事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保					施工済延長		
根拠		有	組織	地域整備	課	土木	係			
事業期間	期間限定		会計	1	款	8	項	2	目	3
住宅が建ち並ぶ狭小な道路の拡幅改良となるため、支障物件が多くなる可能性がある。				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位
						令和元年度未完了		0	290	m

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000021	町道羽場湯宿線道路改良事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	3,000,000 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	起点部からしばらくの間の幅員が狭く、地域の重要路線であり、交通量が多く危険なため、拡幅改良をするもの。		各種協議資料の作成		事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保					当年度実施済道路延長		
根拠		有	組織	地域整備	課	土木	係			
事業期間	期間限定		会計	1	款	8	項	2	目	3
国道17号、砂防河川、民家等があり、位置の検討が必要。				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		平成30年度	令和元年度	単位
						押出と花の木地区双方での同意形成の確認等が必要である。		0	0	m

09.道路の安全性と利便性の確保

令和元年8月16日作成 (令和2年6月11日更新)

事務事業	000022	道路台帳等統合整備事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	170,458,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				旧3町村で整備した道路台帳の成果品が劣化している為、全庁統合型GISの導入により、3地区の道路台帳の統合を始めとした他部署が保有している図面の一元管理を目指す。	統合型GIS及び道路台帳の統合が完了した。公開型GISの実装は令和2年度に繰越することになった。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						実施率				
根拠	有	組織	地域整備	課	用地・管理	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定事業	H 29 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	1	平成30年度	令和元年度	単位
整備範囲、成果品の到達目標等が不明確である為、他部署との綿密な協議が必要							公開型GISの実装をもって事業完了の為、令和2年度にて廃止	50.1	96.7	%			

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000023	町道後閑石合集落道路新設改良事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				町道種田線と石合1号線の間L=70mの道路新設(町道石合10号線)を行う。 H30用地測量、路線測量、設計H31～道路新設工事	道路用地を取得する手法として、土地交換と寄付によって行うことで、関係地権者から同意が得られたので、手続きを進め、所有権移転登記を完了することが出来た。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						道路整備延長				
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定事業	H 31 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	3	平成30年度	令和元年度	単位
現況道路があるが、敷地は全て私有地(所有者複数)である。砂利敷であり、所有者の一人が自費においてAs舗装をしようとしていたが、排水の関係で近隣トラブルになり、頓挫。この件について相談があり、町道として新規整備してほしいとの旨、後閑区と議員から要望があった。							土地交換によって影響を与えた土地に補償物件があるため、補償工事を行い、関係地権者へ引き渡しを行い、道路新設改良工事を進めて行く。	0	0	m			

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000024	町道浅地工貫線道路改良事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	7,992,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				浅地工貫線の道路側溝及び沢までの排水整備を行う。	大谷沢への流末排水路は平成30年度に単独道路補修事業にて整備したので、道路改良が容易になっているが、現況の幅員が狭いため、通行規制をかけたが施工した。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						排水路整備延長				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定	H 31 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	3	平成30年度	令和元年度	単位
大峰沢への排水は土木事務所の承諾が得られなかった為、大谷沢への放流を行う。大谷沢までの間、道路が逆勾配である。掘削深がある程度必要となり、工事中の交通障害が発生する。							道路改良の内、先に令和元年度に道路側溝部を施工し、残りの道路側溝部を令和2年度に施工を予定している。その後、舗装部の改良を行い、道路改良を完成させる。	0	241	m			

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000025	町道宮前河原線道路改良事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	7,940,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				ハルナプロデュースタニカワ工場前から県道沼田水上線まで延長270mの道路改良を行う。	地元区及び関係者との連絡協議	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						当年度実施済道路延長				
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	期間限定	H 30 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	3	平成30年度	令和元年度	単位
建物等が支障になり、補償費が高くなる。							交差点形状等、道路線形の確定結果により補償内容の変動等あれば、地元同意を得られるよう進める。	0	0	m			

09_道路の安全性と利便性の確保

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000026	町道鹿野沢西町線道路改良事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,708,217 円						
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			鹿野沢地内の水上駅前から鹿野沢会館までの生活道路、延長150mの道路改良を行う。	関係地権者の協力が得られ、道路用地を取得することが出来た。工事の支障となる電柱移転申請を行い、道路改良工事の内107mの契約を行うことが出来た。	事業実績							
	基本事業	02	道路の安全性の確保					当年度実施済道路延長							
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	期間限定	H 30 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	3	説明会を開催し地元から現計画の理解と協力を得る	残りの道路改良工事区間は、現況に町の動力による散水消雪施設があり、今後の維持管理を考え、県と水の供給協議を行い、整備方針を決め、工事を進めて行く。	平成30年度	令和元年度	単位
												0	0	m	

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000027	町道三通り戸谷倉線道路改良事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	18,717,917 円						
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			上牧地内の北小学校南校門付近から戸倉、戸谷地区を抜ける生活道路、延長1500mの道路改良を行う。	全整備区間の内、戸谷工区の関係地権者の協力が得られ、用地取得及び支障物件補償が概ね完了することが出来た。	事業実績							
	基本事業	02	道路の安全性の確保					当年度実施済道路延長							
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	期間限定	H 30 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	3	建物等が支障になる。砂防河川を通り抜ける為、大規模な構造物を建てる必要がある。上越線を越える為、JRと要協議。	同意が得られていない箇所についても、関係者に個別説明を行い、理解を得られるように進めて行く。同意が得られた箇所から工事を進めて行く。	平成30年度	令和元年度	単位
												0	0	m	

令和元年8月19日作成 (令和2年6月10日更新)

事務事業	000028	町道花の木20号線道路改良事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,620,400 円						
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			伊賀野地区への生活道路で、幅員が狭く、交互通行ができない為、待避所を整備し利用者の安全な通行を確保する。	工事の実施、公共工事残土受け入れ地確保	事業実績							
	基本事業	02	道路の安全性の確保					待避所の整備							
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	期間限定	H 30 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	3	地元要望もされ、地域の方も整備に協力的である。	良質な残土の受け入れ	平成30年度	令和元年度	単位
												1	0	箇所	

令和元年8月16日作成 (令和2年6月9日更新)

事務事業	000001	道路除排雪事業				①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	63,921,352 円						
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			道路に降った雪の除排雪を行い町民や来町者等道路利用者が安全で安心して通行できる道路を提供するため、除雪作業方法の選択や契約・現場管理に関する事務、及び破損箇所の修繕業務	オペレータの身分の保障と給与の安定を図るため、直営除雪を外部に委託する調整を行った。	事業実績							
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					臨時職員の作業日数 ・除雪委託業者数 ・地域支援除雪団体							
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	5	除雪経費削減。 直営オペレーターの確保	業者委託への移行が進み、経費の増加が予想されるので、町職員のオペレーターの育成を行う。	平成30年度	令和元年度	単位
												88・14・6	82・15・5	日・者・区	

09_道路の安全性と利便性の確保

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000002	除雪機・除雪車等維持管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	29,063,225 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	町が所有する除雪作業用重機・車両等の維持管理事業	自主点検の実施	事業実績				
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保			保有台数・借上機械数				
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務	係				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
				老朽化に伴う車両の維持管理費の増加	老朽化が著しく多額の経費が掛かる車両を計画的に廃車していく。	41・1	41・1	台		

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000003	除雪機・除雪車等整備事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,142,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	除雪作業用重機・車両等の購入事業	5tドーザーの購入	事業実績				
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保			購入機械台数				
根拠	有	組織	地域整備	課	除雪センター業務	係				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
				補助車両については、計画的な更新・増強を行っているが、単独車両の多くが老朽化しており、買い替え等が必要がある。	計画的な車両の更新	1	1	台		

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000004	消融雪施設維持管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	57,075,010 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	消雪・融雪施設の維持管理業務。 【燃料・電気料、修繕・工事、施設及び電気設備管理委託、消雪施設電気料県負担金】	パトロールの作業員を雇用し、こまめに融雪施設の電源管理を行った。	事業実績				
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保			散水施設箇所数・無散水施設箇所数				
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務	係				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
				施設の通常経費の増加及び老朽化に対する維持費の増加	補助事業を活用した計画的な施設の更新工事を行い、更なる経費の削減を図りたい。	17・27	17・27	箇所		

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000005	除雪情報システム管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,855,234 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	除雪車の運行管理システムを活用し現在地及び除雪経路等の確認、交通渋滞情報の提供等HPにて公開する。また、除雪費などの集計も行える。	実務に適したシステムになるよう委託業者と調整した。	事業実績				
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保			除雪延長(監視延長)				
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務	係				
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5
				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
				災害時の活用方法の確立、及びシステムのカスタマイズ費用が課題	端末機の補充	313	313	km		

09_道路の安全性と利便性の確保

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 9 日更新)

事務事業		000007		消雪施設改修事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		48,830,000 円			
施策体系	施策	09		道路の安全性と利便性の確保				老朽化が進む散水式消雪施設の計画的な更新。		町道鹿野沢大穴線、2年目工区の更新工事の実施		事業実績					
	基本事業	03		冬期間の道路網の確保								改修工事の延長/ 既存散水式消雪施設の延長					
根拠		無	組織	地域整備		課		除雪センター業務		係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間		継続事業		会計		1 款		8 項		2 目		5		散水式消雪施設は昭和50年代より随時整備を行ってきたが、老朽化が進み、保守点検等実施しておりますが、散水の効率が低下している。		更新工事の継続	
H 29 ~ 年間														平成30年度	令和元年度	単位	
														300/5023	261/5023	m	

令和 元 年 8 月 19 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業		000008		気象観測システム管理事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費		4,744,314 円			
施策体系	施策	09		道路の安全性と利便性の確保				平成25年度に気象観測局の設置、情報の収集・発信を行う観測装置の維持管理及びホームページに関する機器のメンテナンス		観測装置およびホームページのメンテナンス		事業実績					
	基本事業	03		冬期間の道路網の確保								年平均月間利用者数					
根拠		無	組織	地域整備		課		土木		係		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間		継続事業		会計		1 款		8 項		2 目		5		管理面積の広いみなかみ町では、全体的に気象観測をする事が非常に困難であると思う。観測局毎に維持管理費用がかかるため、なるべく少ない設置箇所が望まれる。		観測装置の計画的な更新	
H 25 ~ 年間														平成30年度	令和元年度	単位	
														36,808	41,508	人	